

これが日本のグリーン・ツーリズムだ！

命を繋ぎ、心を癒し、人を活かす人間福祉への原点回帰

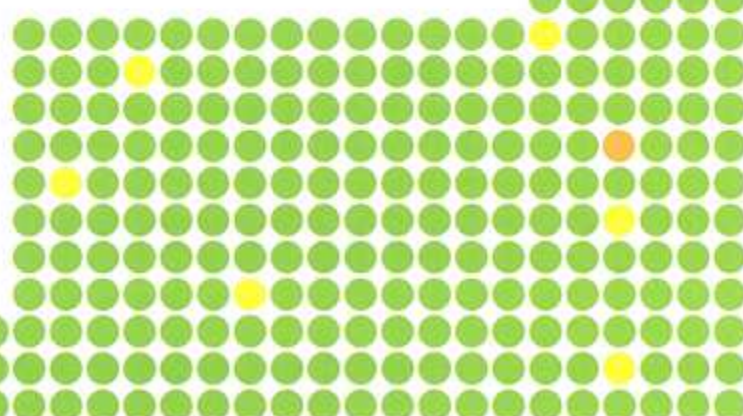
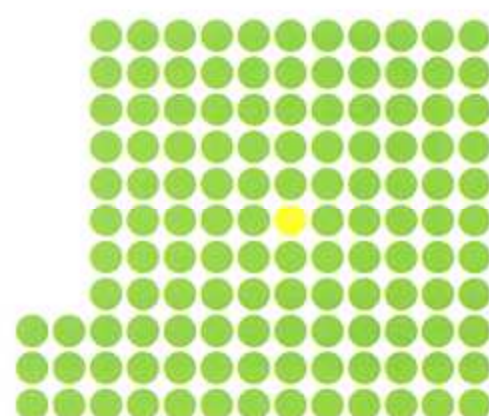
第13回

全国グリーン・ツーリズム・ネットワーク 東京大会

2015年

2月12日(木)~13日(金)

大会会場：東洋大学白山キャンパス6号館
(東京文京区白山5-28-20)



2月12日(木) 12:00 受付
13:00 開始

記念シンポジウム「グリーン・ツーリズム実践者大集合！極上の『ひともうけ』物語」

コンサート「命に感謝、歌でつながる奇跡の人生ドラマ」(一の瀬たかし氏他出演)

野良着ファッションショー「ナニコレ？パリコレ」

全国実践者メッセージ「輝く人々、広がる人の輪、深まる感動、その魅力をたっぷり披露！」

全国食の大祭典・大交流会

2月13日(金) 9:00 分科会
午後～ オプションツアー

主催：第13回全国グリーン・ツーリズム・ネットワーク東京大会実行委員会

共催：日本グリーンツーリズム・ネットワークセンター

大会スケジュール

大会会場：東洋大学白山キャンパス 6号館 (東京文京区白山 5-28-20)

第1日目 (2月12日) (木)

- 正午～ 参加受付
13:00 開会式
14:00 記念シンポジウム「グリーン・ツーリズム実践者大集合！ 極上の『ひともうけ』物語」
16:00 オープニングコンサート「命に感謝、歌でつながる奇跡の人生ドラマ」(一の瀬たかし氏他出演)
野良着ファッションショー「ナニコレ?パリコレ」
17:30 全国実践者メッセージ「輝く人々、広がる人の輪、深まる感動、その魅力をたっぷり披露！」
18:00 全国食の大祭典 (秀でた食材を活かす「和の食文化」)大交流会

第2日目 (2月13日) (金)

- 9:00 分科会 (7分科会)
11:00 全体会 総括討論 大会宣言採択
12:00 閉会
午後～ オプショナルツアー【アーバン・ツーリズム】 ※詳細は別紙参照。

分科会スケジュール / 第1～第3

第1分科会 輝く人生、毎日が現役、何が人を活かし、動かすのか? 生き生き人生、その魅力に迫る!

(GT実践第1世代:生涯現役の社会的自己実現)



司会：片寄斗史子氏 (「毎日が発見」編集長)

報告：農家民宿・農家レストラン・農産物直売所経営者 第1世代代表

趣旨

グリーン・ツーリズムの実践を担ってこられた第1世代。平均年齢70歳にならんとする方々が、長年の豊富な人生経験を活かし、人間力で人々をもてなす「極上のお宿・農家レストラン・直売所」、その極意と生涯現役で自分を輝かす人生の素晴らしさを披露いただき、「心ある方々」、そして、次世代の若者へのメッセージを届けていただきます。

第2分科会 次世代を担う頼もしい未来、農の多様な価値に迫る若者たち

(GT実践第2世代:オルタナティブな創造的人生)



司会：安村克己氏 (追手門学院大学基盤教育機構・教授)

報告：農家民宿・農家レストラン・農産物直売所経営者 第2世代代表

趣旨

グリーン・ツーリズム実践の第2世代。両親の秀でた実践や自らの磨き鍛えた経営センスを活かし、あるいは多様な応援団や仲間を活かしてGTの新しい経営を実践している若者たち。オルタナティブなGT実践センスは、一体どのような経験や資質を磨いて生まれたのか、その課題に鋭く迫る! その背景や価値観と今後の夢や希望を熱く語っていただきます。

第3分科会 確かな実践、確かな連携、つなぎ役を担う組織と人材

(GT実践サポートの中間支援:苦悩を知恵とネットワークで乗り越える)



司会：廻谷 義治氏 (GTNET 理事・NPO 千葉県市民農園協会理事長)

報告：GT実践支援関連 NPO 等団体関係者

趣旨

農家民宿や、農家レストラン、直売所等の個別実践、教育旅行や各種体験事業等、多様な実践が展開する中、地域内外での多元的な連携を担う中間支援組織。人材育成や確保、安定的な財源確保、個性的な事業企画・運営等の課題をどのような工夫と努力で乗り越えるか、本音で議論し、解決の糸口を探ります。

第4分科会 グリーン・ツーリズムの展開・発展にとって、学生は何ができて、何ができないのか？

(GTの継続的なサポート確保、学生の課題と可能性)



司会：小山弘美氏（東洋大学社会学部助教）

報告：東洋大学社会学部青木ゼミ、社会調査実習田野畑班、その他（世田谷区生涯大学学生予定）

趣旨

グリーン・ツーリズム実践の初発の段階や、展開・発展段階において、学生が果たす役割は小さくありません。外部人材としてのユニークな発想や、自らの人生の転換を体感できる彼らが、実践過程で実践者と交流や協働活動を通して大きく変わることも少なくありません。学生効果の意義と可能性について、実際現地に関わる学生が事例発表を行います。

第5分科会 ゲストとホストが対等で公正な関係をいかに保ち、持続可能な交流につなげるか？

(倫理的な交流に基づくフェアツーリズムの理念の具現化)



司会：金 振晩氏（帝京大学経済学部准教授）

報告：国内大会開催地・開催予定地・韓国関係者・実践地域

趣旨

国際観光の急激な拡大や、教育旅行の一般化の中で、今後農村地域における訪問客の増大が期待されている中、ゲストの質の確保を保ち、継続的な交流活動を持続化することが、公正な「歓交」活動（フェアツーリズム）の展開に必要なになります。そうした質の高い交流を企画する方法やマーケティングの方法について、様々な事例を通して議論します。

第6分科会 地域の宝を生かしつなぐー世界農業遺産国内認定地域は今後何をなすべきか？

(地域資源活用におけるグリーン・ツーリズムの意義と役割)



司会：大和田順子氏（一般社団法人口ハス・ビジネス・アライアンス共同代表）

報告：世界農業遺産農水省認定地域等

趣旨

国連食糧農業機関（FAO）が認定する「世界農業遺産」の2014年度農水省の認定を受け、次年度に正式承認を申請する3地域。専門家会議における厳正な審査・現地調査等をクリアしたこの地域は、秀でた独自の農業遺産が保全されています。この貴重な資源価値を広く保全・活用するために、グリーン・ツーリズムがどのような役割を果たすのかを、事例報告を踏まえて議論します。是非全国各地の潜在的申請候補地域の皆さんも参考にしてください。

第7分科会 食の魅力を活かすGTの可能性ー和食の文化をいかに活かし次世代につなぐか？

(フードツーリズムの意義と可能性)



司会：本田節氏（コミュニティレストランひまわり亭代表）

報告：農家レストラン・農家民宿・食関連ビジネス担当者

趣旨

「和食文化」が世界文化遺産に指定されてから、日本食が見直され、グリーン・ツーリズムの実践で築かれてきた伝統食や郷土食をつなぐ営みが、新たに注目されています。全国各地の農家民宿や農家レストラン、コミュニティ・レストラン等の実態を踏まえ、次世代に豊かな食文化をどうつなぐかを、確かな実践事例を踏まえて、具体的に議論します。

大会趣旨

日本にグリーン・ツーリズム政策が導入されて22年が経過し、今やグリーン・ツーリズムは、一般にも馴染みのある言葉として普及し、全国的な実践の展開が多様にみられるようになりました。実践者の確かなネットワークの構築を目指して創設された、NPO法人「日本グリーンツーリズム・ネットワークセンター」も、今年で創立10周年を迎え、全国的な実践者のネットワークが太い絆になりつつあります。

こうした中で、全国の実践者を集結し、多様な実践の底の深さと広さをアピールし、その意義と課題について多様な議論を交わし、セカンドステージからサードステージへの展開の方向性を探りたいと思います。

多くの実践者の方々が異口同音におっしゃるのは、グリーン・ツーリズムの魅力は「人づくり」。それは、一人ひとりの方々の人生を豊かにし、その輝く人々が相乗的に輝く交流が、その根幹にあるからでしょう。

今回のテーマは「人間福祉への原点回帰」です。日本という国や、地域社会、家族、一人ひとりの人生にとって、「幸せ」とは何でしょうか？もう一度その原点に立ち返って、人々の感動交流物語の意義と可能性を大いに語り合い、お互いの日常世界への旅を極める。その機会にこの大会を活かしていただきたいものです。

東洋大学の建学の精神は、「余資なき、優暇なき者」に教育機会を与えることにありました。新たな余暇の創造を目指す人々に、グリーン・ツーリズムの魅力と魔力を披歴する絶好の場であります。

新装なったキャンパスで、様々な交流と知的刺激、そしてネットワークの広がりダイナミックに巻き起こることを願っています。全国の心ある方々の思い出に残る大会になりますように。



第13回全国グリーン・ツーリズム・ネットワーク東京大会実行委員長 青木辰司

参加費

大会参加費

一般	3,000円
GTNET 会員	2,000円
学生	1,000円

懇親会 (12日 東洋大学6号館 地下食堂フードコートにて)

一般	4,000円
学生	2,000円

会場へのアクセス

都営地下鉄三田線「白山」駅

- ・A3 出口から「正門・南門」徒歩5分
- ・A1 出口から「西門」徒歩5分

都営地下鉄三田線「千石」駅

- ・A1 出口から「正門・西門」徒歩7分

東京メトロ南北線「本駒込」駅

- ・1番出口から「正門・南門」徒歩5分



お問い合わせ先

NPO 法人日本グリーンツーリズム・ネットワークセンター (東洋大学社会学部青木辰司研究室)

東洋大学白山キャンパス (東京都文京区白山5-28-20)

電話: 03-3945-7452

FAX: 03-3945-7626

E-mail: aoki@toyo.jp